



News release

2012年4月16日(月)

キヤノン社製 新型 CINEMA EOS C500 に対応 4K 非圧縮レコーダ HR-7510 を NAB2012 にて発表

デジタルビデオ機器の専門メーカーアストロデザイン株式会社(本社:東京都大田区 鈴木茂昭社長)は、キヤノン社製 新型 CINEMA EOS C500 に対応した「4K 非圧縮レコーダ HR-7510」を4月16日から19日まで米ネバダ州ラスベガスにて開催される全米放送機器展 NAB2012 の同社ブースにおいて参考出展いたします。

本製品、はキヤノン社製 CINEMA EOS C500 の RAW 出力を非圧縮で収録する事が出来ます。

- ・4K-RAW-60p
- ・4K-Half-RAW-120p
- ・2K-RGB4:4:4-12bit-60p
- ・2K-YCbCr4:2:2-120p

C500 からの REC/STOP の操作により、レコーダも自動的に REC/STOP 動作を行います。

また、バリアブルフレームに対応し、オーバー crank(スローモーション)、アンダー crank(クイックモーション)撮影が可能です。



リアルタイム RAW 現像

撮影中の映像をリアルタイム RAW 現像でモニタリングできます。

3G-SDI x4 の出力を装備。4K モニタを使用すれば本番前に撮影画像を確認でき、撮り直しのリスクを極限まで減らす事が出来ます。また、Canon-Log、Rec.709 を切り替えてモニタリングでき、階調表現、色味の両方を確認できます。

データ転送

ファイルベースワークフローで最も気になるデータ転送を高速化しました。撮影データの転送インターフェースには SAS を採用し、ビデオのダビングとほぼ等しい高速転送が可能です。

その他の特長

- ・ 4K レコーダとしては従来に無い小型、軽量なボディ。
- ・ 機械的な故障のリスクが低く信頼性の高い SSD を採用
- ・ TC はエンベデッド、LTC 入力の両方に対応
- ・ Audio はエンベデッドと XLR 入力に対応しています。
- ・ RAW で撮影した画像は内蔵の 3.5 インチ LCD モニタで現像結果を確認できます。
- ・ カメラ、レンズなどのメタデータを同時に記録できます。
- ・ 電源は DC10-32V 対応。バッテリー駆動もサポート。

【このリリースに関するお問い合わせ先】

アストロデザイン株式会社 事業支援部

栃本 芳昭 (e-mail: ytochi@astrodesign.co.jp) 長谷川 博之 (e-mail: h-hasegawa@astrodesign.co.jp)

TEL:03-5734-6100 FAX:03-5734-6101